

OPU Students 海外留学レポート

Study Abroad Report from the OPU students



プロフィール (Profile)

氏名 (Name) 松田 直大
所属 (School) 工学研究科 物質・化学系専攻
学年 (Grade) 博士前期課程 1年

留学先 (Name of overseas institution)
上海交通大学
留学期間 (study abroad period)
2018/8/8~2018/8/12

記入日 (Date) 2018/8/17

留学レポート Study Abroad Report

✓はじめに

私は中華人民共和国の上海市に渡航し、学会での口頭発表と上海交通大学の研究室見学を行いました。中国を訪れるのは今回が初めてであったため、国際学会への参加以外も街の景色や食事などすべてが新鮮に感じられました。また学会や研究室見学の場では日本語が通じない相手に学術的な内容を正確に伝える必要があり、観光旅行での会話とは全く異なる難しさがありました。このレポートでは、学会への参加、大学の見学、上海市内の様子の3つに分けて、私が今回の渡航で体験したことや感じたことを報告します。

✓学会への参加

私は The 19th International Conference on Electronic Packaging Technology (ICEPT2018) で口頭発表を行いました。この学会は各種材料を取り扱う学生、技術者、研究者が幅広く参加しており、私が取り組んでいる対象の材料や実験方法にはあまり詳しくない聴衆も多かったので、自分の研究内容をわかりやすく丁寧に説明することに苦労しました。質疑応答では英語もあまり通じない中国人の学生の方から質問を受ける場面もありましたが、時間をかけて説明してなんとか内容を理解してもらうことができました。外国語会話は気合と根気です。(笑)

学会には著名な専門家の方々が多く参加されており、お話を伺うだけでも貴重な経験となりました。発表の件数は500件におよび、改めて中国の人の多さと学会の規模の大きさを感じました。また発表中の質疑応答の場だけでなく、食事中や廊下での立ち話など、各所で参加者の方々が熱心に議論を繰り広げており、会場全体が活気にあふれていました。

(写真左)発表の様子 最前列に座っておられた方は特に熱心に聞いてくださいました。

(写真右)日本人参加者みんなで記念撮影 大御所ぞろいでも場違いな私は後ろで小さくなっています。



✓大学の見学

上海交通大学電子材料技術研究所所長の李明教授と学生の段浩澤さん(表題写真、私の右に写っています)の紹介で、上海市内にある上海交通大学を見学しました。上海交通大学は1896年創立と中国で最も古い歴史をもつ理工系総合大学の一つであり、学生の数は3万人にのぼるそうです。李教授のご専門である材料系の専攻分野は国家重点学科に指定されており、材料系だけで5棟の校舎があったほか、李教授ご自身でXRD、SEM、クリーンルームなど高価な実験設備を数多く所有しており、私が日本で訪れたことのあるどの大学よりも研究環境が充実していました。今回の訪問では研究室見学以外にも段さんの案内で図書館や食堂など学内の主要な施設を見せていただき、夕食も学食でとりました。学食はおなかいっぱい食べても300円程度と、現地の物価を考慮してもかなり安く感じました。

(写真左)李教授は写真撮影にも快く応じてくださいました。ありがとうございました。

(写真右)学食で頼んだメニュー(2人前)、これで35元(600円ぐらい)



✓上海市内の様子

上海市は中国最大の経済都市であり、日本の大都市圏と変わらず便利で快適な生活を送ることができました。とくに交通手段とキャッシュレス決済については最先端の技術が導入されており、日本人の私には新鮮に感じました。

上海の玄関口である上海浦東国際空港は市街地から40km程度離れており、一見不便なように思えます。しかし空港から市街地まではリニアモーターカーが走っており、所要時間は10分もかかりませんでした。料金も50元(800円程度)と高価ではなく、多くの利用者で賑わっていました。市内に出ると16路線もの地下鉄が整備されており、タクシーもスマートフォンのアプリで配車すればすぐ来てくれるなど、上海近郊の移動で不自由を感じることはありませんでした。

上海ではほぼすべての飲食店や小売店、さらに地下鉄やタクシーなどあらゆるサービスにスマートフォンの決済アプリ"Alipay"が導入されており、財布を持たなくても生活することができました。AlipayはQRコードを利用した決済システムであり、登録するとユーザー1人1人にコードが割り当てられます。このQRコードを利用すれば、買い物等の店での決済だけでなく、個人間のお金のやり取りもAlipayで行うことができます。私も上海交通大学の学食は段さんのミールカードで支払いをしてもらいましたが、その場でAlipayを使って立て替えてもらった代金をお返ししました。Alipayの普及の背景は偽札の横行などあまり前向きでない理由もあるらしいのですが、中国のもつIT技術の先進性と利便性を肌で感じる事ができました。

(写真左)空港駅に停車中のリニアモーターカーの車両 関西空港にもぜひ造ってほしいものです。

(写真右)街中のいたるところにあったAlipay使えますマーク(画像の出典:日本経済新聞)

